いきものたちの 全国ツアー！

巡回企画展「雨といきもの展」を開催します

９月６日(火)～１０月１６日(日)

生き物は、雨とどのように関わりながら過ごしているのでしょうか？「雨といきもの展」は、“生き物にとっての雨の恵み”をテーマにした展示です。

色々な生き物の立場から雨をみてみると、雨とのつきあい方は実に多様であることがわかります。

普段と違った視点から雨を眺め、雨とのつきあい方について考えてみましょう。

この企画展は、日本全国で巡回展示を行っています。

「あいぽーと」では昨年９月に展示し、好評だったことから、再度の展示を行うこととなりました。

【開催場所】北上川学習交流館 あいぽーと

【開催期間】平成２８年　９月　６日(火) ～ 平成２８年１０月１６日(日)

【開館時間】９時００分～１７時００分

【 休館日 】毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）

【 入場料 】無 料

【展示内容】“生き物にとっての雨の恵み”をテーマにした展示を、日本各地を旅する３匹のカエル「アマツブ楽団」がご案内します。

●映像で降ってくる雨の言葉と触れ合うインタラクティブ展示「ことばあめ」、
●雨と生き物に関する絵本「雨といきもの物語」、●「アマツブクイズ」、
●雨音の楽器などの体験展示「雨の音で遊ぼう」など。

【 所在地 】〒029-0131 岩手県一関市狐禅寺字石ノ瀬１５５－８１
（「あいぽーと」は、「国土交通省 一関防災センター」及び「国土交通省 岩手河川国道事務所 一関出張所」と一体の建物になっています。）

【 交　通 】

≫総合体育館（ユードーム）バス停から歩いて約５分
≫ＪＲ一関駅から クルマで約１０分
≫ＪＲ山目駅から クルマで約１０分
≫東北自動車道 一関ＩＣから クルマで約１５分





「雨といきもの展」の展示ユニットについて

■「雨といきもの展」の展示ユニットは、大学の学生や教員、気象キャスター、展示プランナーやデザイナー、国土交通省の職員等の有志のメンバーからなる「水の巡回展ネットワーク（JAWANET）」によって企画・開発されました。

「水の巡回展ネットワーク（JAWANET）」は、水に関する様々なテーマの展示ユニットを開発し、それらを各地の展示館で巡回展示しています。巡回展示の機会を利用して調査を行いながら、多くの場所で活用できる、汎用性の高い、楽しく学べる展示を創造していくことを目的に活動している団体です。

■展示写真（昨年９月に「あいぽーと」で展示されたときの写真です。）

展示全体



インタラクティブ展示「ことばあめ」



北上川学習交流館「あいぽーと」（国土交通省 一関防災センター）について

■　「あいぽーと」は、北上川の風土と民俗、歴史と文化、災害と治水などの種々の情報を広く発信し、学習体験や流域内の交流を図るための総合情報拠点※1であるとともに、災害時における防災活動拠点※2となる施設です。

施設は、１階に展示室、学習スペース、２階に一関遊水地集中管理センター、３階に展望室などを有しています。



※１　総合情報拠点として

展示室（１階）には、北上川流域や災害などのパネル展示、北上川流域全体の航空写真（20×6m）、治水に関する模型、北上川に関する図書などがあります。

展示室、展望室（３階）は、自由に見学することができます。

また、学校関係団体や一般団体の館内見学、学習の受付を随時行っています。学習内容は、過去の水害、北上川の特徴、一関遊水地、防災センターの役割、館内施設見学などです。

※２　防災活動拠点として

災害時は、防災センターとして、状況把握と復旧対応を行う拠点となります。

平成 20 年 6 月の岩手・宮城内陸地震、平成 23 年 3 月の東日本大震災では、国土交通省の現地対策本部が設置され、テックフォースの派遣及び災害復旧の拠点などとして機能しました。

■　あいぽーとの展示室には、常設展示として“北上川にすむ動植物”コーナーがあります。

今回の巡回企画展「雨といきもの展」と併せて見学することで、いろいろな生き物について、より一層、知り、学べることができます。



北上川の上流、中流、下流ごとに、動植物を個々に解説しています。



北上川に棲む魚、水生昆虫、陸生昆虫の標本を展示しています。

雨といきもの展

雨がふったら はじまるよ
いきものたちの 全国ツアー！



- 開催場所＝北上川学習交流館 あいぽーと
- 開催期間＝平成28年9月6日(火)～10月16日(日)
- 休館日＝毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)
- 開館時間＝9:00～17:00
- 主催＝国土交通省東北地方整備局 岩手河川国道事務所
- 共催＝一般社団法人 東北地域づくり協会　● 企画制作＝水の巡回展ネットワーク
- 協力＝ NPO法人 気象キャスターネットワーク、ファン ザ ミューズ、土木研究所 自然共生研究センター、東京学芸大学 環境教育研究センター、東京学芸大学 グラフィックデザイン研究室、九州産業大学 芸術学部メディアラボ 331、日本河川・流域再生ネットワーク



モートンイトトンボ
Mortonagrion selenion（トンボ目）

国土交通省　jawanet japan water exhibition network

Our Life, with River 河川整備基金

この巡回企画展は、公益財団法人 河川財団の河川整備基金の助成を受けています。

雨といきもの展

ぼくらはアマツブ楽団☆
よろしくね！



▼インタラクティブ展示“ことばあめ”



▼いきものたちとのであいを絵本で紹介



日本各地をいろいろな仲間たちにあえるかもね！



●みなさんは雨がすきですか？きらいですか？●雨の音がすき、長靴がすき、傘をもって歩くのが面倒、ぬれて大変、人それぞれ雨に対するいろいろな想いがあると思います。●では、私たち人以外のいきものは、雨とどのように関わりながら過ごしているのでしょうか。●いろいろないきものの立場から雨をみてみると、雨とのつきあい方は実に多様であることがわかります。●雨を待っているカエル、雨粒をはじく羽をもつチョウ、川の増水でつくられた場所を好む魚や植物、みんな雨と上手くつきあいながら暮らしているのです。●この企画展では、いきものにとっての雨の恵みをテーマにした展示を、日本各地を旅する３匹の「アマツブ楽団」がご案内します。●日本の雨の特徴、雨に関する研究成果などのパネル、雨といきものに関する絵本展示やクイズ、雨音の楽器などの体験展示もあります。●そして、注目は映像で降ってくる雨の言葉と触れ合うインタラクティブ展示“ ことばあめ”。●アマツブ楽団と一緒に、ふだんと違った視点から雨を眺め、雨とのつきあい方について考えてみましょう。

この展示は、大学の学生や教員、気象キャスター、展示プランナーやデザイナー、国土交通省の職員等の有志のメンバーからなる「水の巡回展ネットワーク（JAWANET）」によって企画・開発されました。水の巡回展ネットワークでは、水に関する様々なテーマの展示ユニットを開発し、それらを各地の展示館に巡回しています。巡回の機会を利用して調査を行いながら、多くの場所で活用できる、汎用性の高い、楽しく学べる展示を創造していくことを目的に活動しています。





北上川学習交流館 あいぽーと

【交通】総合体育館（ユードーム）バス停から 歩いて約５分
ＪＲ一関駅から クルマで約１０分
ＪＲ山目駅から クルマで約１０分
東北自動車道 一関ＩＣから クルマで約１５分

【入場料】無料

【住所】〒029-0131 岩手県一関市狐禅寺字石ノ瀬１５５－８１

【問い合わせ】あいぽーと事務局
０１９１－２６－００７７

